

2026年7月2日

# 「第61回地盤工学研究発表会」出展のご案内

この度、ヒロセ補強土株式会社は静岡コンベンションアーツセンター/グランシップで開催される第61回地盤工学研究発表会(2026静岡大会)へ出展いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

## 1. 開催概要

- 名称: 第61回地盤工学研究発表会(2026静岡大会)
- 会期: 2026年7月7日(火) 09:00-17:00  
: 2026年7月8日(水) 09:00-17:00  
: 2026年7月9日(木) 09:00-15:00(最終日)
- 会場: 静岡県コンベンションアーツセンター/グランシップ1F大ホール・海 (ブース:5-H)
- 交通: JR東海道本線 東静岡駅 徒歩3分
- 公式サイト: <https://pub.confite.atlas.jp/ja/event/jgs61>

## 2. 主な展示内容

展示内容	概要
・High-S工法	High-S工法とは、高強度の地山補強土工と高剛性の鋼管杭を適切に組み合わせることで、従来に比べて大幅な工期短縮を実現する工法です。施工機械が小型のため、単管足場での施工が可能。山間部の急峻な現場や拡張工事など、施工スペースが限られる現場に最適です。さらに、従来の地盤改良では難しかった玉石混じり層や礫層など、多様な地盤に対応可能です。
・テールアルメ擁壁	「テールアルメ擁壁」は、補強土工法として唯一、旧・宅地造成等規制法下において、国土交通大臣より認定された工法です。(現:盛土規制法でも適用可能)壁高15m、上載盛土高5.0mまで構築でき、垂直に近い壁面構成が可能です。用地を最大限に活用したい高盛土や、大規模な開発現場に最適です。
・解析・工法提案サポート	軟弱地盤への対応や、既設構造物に近接する施工の影響評価、地盤構造物の耐震照査などを対象とした解析サービスを提供し、現場の条件に応じた合理的な対策工法までを提案します。

### 3. 論文発表

工法名	論文テーマ
・補強土壁 テールアルメ工法	補強土壁の維持管理における定量的な点検手法の提案に向けた基礎的な検討
・軽量盛土工法 EPS工法	軽量盛土工法における施工性および維持管理性を向上させた新壁面材の開発
・鋼管杭 High-S工法	小口径鋼管杭基礎を用いた補強土壁の地震時安定性検討
地山補強土 EPルート パイル工法	・地山補強土工法による擁壁基礎の現場計測 ・地山補強土工法におけるFEM解析を用いた圧縮補強効果検証の一考察 ・地盤材料の違いが網状鉄筋挿入工の補強効果に与える影響

### 4. お問い合わせ先

URL: <https://www.hirosehokkyodo.com/contact/form.html>

ヒロセ補強土株式会社 技術部 志村／事業企画室 後藤(TEL: 03-5634-4508)